

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子どもや家族の意向はしっかり聞くようにしている。	計画はこどもや家族の意向がしっかり入っているように確認する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		同意の際はサインをとるようにしている。また支援内容はわかりやすい文章を心掛けている	同意するサインは記入漏れがないか確認し、計画書の作成し忘れがないか常に確認するようにする
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	相談がある時は速やかに対応し、わかりやすい言葉で支援できるよう心掛けている	相談で助言が不十分だったり、内容によって調べないと助言できない内容もあったりするので、十分に足りないことは調べたり関係事業所等に相談したりと内容に沿った助言ができるように努める
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	他の事業所がどういったことを行っているか聞いて参考にしている	コロナ以降、父母を集めての交流会等をできていない。今後、どうするか？保護者さんの意見も聞きながら検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	子どもや保護者が相談しやすい環境を作るようにしている	送迎時に家族と話す（利用してのこどもの様子や体調等）ようにし、相談があった場合は速やかに対応するようにする
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月ホームページで活動の様子を掲載している。その際はプライバシーに気を付けている	子ども一人一人の活動の様子を各家族宛にSNSで送り発信するようにする
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は書庫を活用し鍵をかけ保管している。各家族宛にSNSで情報を送る際は十分にプライバシーに気を付けている	個人情報の書類等の取り扱いには十分に注意し、外部に漏れないよう注意する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報を伝える際は、こどもや家族に対して伝えやすい言葉や伝える手段（電話、SNS、文章等）に気を付けながら行うようにしている	情報の伝達の仕方は、それぞれのこどもや家族に対して何が適切か従業員で把握するようにする
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	毎年行う沖縄市のパネル展に参加して、事業所の情報を公開しています	地域のの方を招待することはコロナやインフルの流行によりまだ行えていない。今後、感染症の情報や家族の意見を参考にどうするか検討していきたい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルは作成して、定期的に見直しを行っている	マニュアルの家族への周知方法を従業員みんなで話し合い今後どうするか検討していきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練を行って記録をとっている	避難訓練の様子はホームページやSNS等でも報告して家族にも周知できるように工夫していきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時や会議等、または家族に直接確認するようにし、その対処の仕方は従業員で共有するようにしている	服薬がある場合は説明書、発作等がある場合は診断書等をコピーして預かり従業員で共有するようにする
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時にアセスメントで情報を確認するようにし、何かある場合は常に家族に確認するよう気を付けている	医師の指示書がある場合はコピーを預かるようにして従業員で共有するようにする
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		沖縄は台風が多いので自然災害での業務継続計画に基づき日頃の支援を行うようにしている	事業所の安全面は常に従業員みんな確認しあうようにする
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		児童一人一人の特性や注意点を家族に確認し、日頃の支援の中での従業員の配置や声掛け等に気を配るようにしている	安全確保に関して、気になることがあれば随時家族に確認し、対応した時の様子等を家族に報告するようにする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		業務日誌にてヒヤリハットのありなしを記載するようにしている	ヒヤリハットがあった場合は、家族にも速やかに報告するように心掛ける
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待の県や地域主催の研修には積極的に参加するようにしている	事業所内でも研修をできる機会（YouTube等のSNSを活用しながら）を作っていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	基本的に身体拘束は行わないようにしているが、何が身体拘束になるのかを理解するようにする	今後も身体拘束を行う予定はない。身体拘束の事例等を確認して何がいけないか把握していきたい